

## 4 品目別価格指数の動き

### (1) 財・サービス分類別上昇・下落上位品目

財の品目別価格指数の前年比について、上昇幅の大きい順に並べてみると、上位10品目中、生鮮食品が6品目を占めている。一方、下落幅の大きい順に並べてみると、上位10品目中、耐久消費財が7品目を占めている。(表18, 19)

サービスの品目別価格指数の前年比について、上昇幅の大きい順に並べてみると、診療代、国立大学授業料、被服賃借料の順となっている。一方、下落幅の大きい順に並べてみると、レンタカー料金、ハンバーガー、通所介護料の順となっている。(表20)

表18 財の前年比で上昇・下落幅の大きかった品目

上 昇			下 落		
品 目	前年比(%)		品 目	前年比(%)	
1	たまねぎ	21.1	1	パソコン(ノート型)	-29.1
2	ティッシュペーパー	14.8	2	パソコン(デスクトップ型)	-26.1
3	ハンドバッグ(輸入品)	14.7	3	電気冷蔵庫	-18.1
4	ばれいしょ	14.6	4	ビデオカメラ	-17.2
5	キャベツ	13.5	5	電気洗濯機	-15.9
6	れんこん	13.4	6	かつお	-15.6
7	防虫剤	13.1	7	テレビゲーム	-15.5
8	ピーマン	11.4	8	さんま	-14.3
9	かんしょ	10.7	9	電子レンジ	-14.2
10	マフラー	10.5	10	携帯オーディオ機器	-14.0

表19 生鮮商品を除いた財の前年比で上昇・下落幅の大きかった品目

上 昇			下 落		
品 目	前年比(%)		品 目	前年比(%)	
1	ティッシュペーパー	14.8	1	パソコン(ノート型)	-29.1
2	ハンドバッグ(輸入品)	14.7	2	パソコン(デスクトップ型)	-26.1
3	防虫剤	13.1	3	電気冷蔵庫	-18.1
4	マフラー	10.5	4	ビデオカメラ	-17.2
5	もち米	9.7	5	電気洗濯機	-15.9
6	国産米A	5.7	6	テレビゲーム	-15.5
7	灯油	5.1	7	電子レンジ	-14.2
8	腕時計(輸入品)	4.6	8	携帯オーディオ機器	-14.0
9	たばこ	4.2	9	カメラ	-12.9
10	たばこ(輸入品)	4.0	10	ステレオセット	-12.6

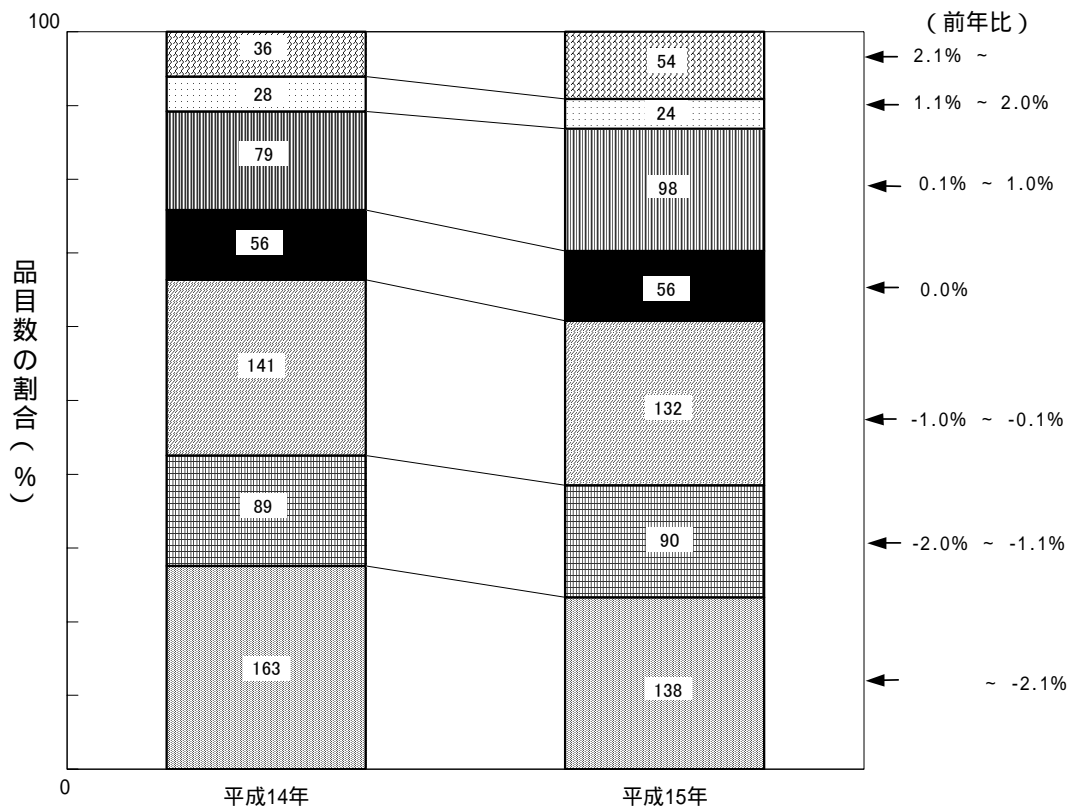
表20 サービスの前年比で上昇・下落幅の大きかった品目

上 昇			下 落		
品 目	前年比(%)		品 目	前年比(%)	
1	診療代	9.2	1	レンタカー料金	-11.7
2	国立大学授業料	3.6	2	ハンバーガー	-4.1
3	被服賃借料	2.8	3	通所介護料	-3.5
4	出産入院料(国立)	2.1	4	プロ野球観覧料	-2.1
5	航空運賃	1.4	5	ビデオソフトレンタル料	-2.0
6	サッカー観覧料	1.3	6	ルームエアコン取付け料	-1.9
7	公団公社家賃	1.2	7	公営家賃	-1.6
7	公立高校授業料	1.2	8	駐車料金	-1.5
7	私立高校授業料	1.2	8	ゴルフプレー料金	-1.5
7	美術館入館料	1.2	10	大工手間代	-1.2

(2) 品目別価格指数の前年比の分布

品目別価格指数の前年比の動きをみると、消費者物価指数592品目（持家の帰属家賃の4品目及び15年1月に追加した2品目を除く。）のうち、上昇したものの176品目（全体の29.7%）、変わらなかったもの56品目（同9.5%）、下落したものの360品目（同60.8%）となっている。これらの品目について前年比を階級別にみると、上昇した品目のうち0.1%～1.0%の上昇は98品目（同16.6%）、1%を超える上昇は78品目（同13.2%）であった。一方、下落した品目のうち0.1%～1.0%の下落は132品目（同22.3%）、1%を超える下落は228品目（同38.5%）であった。（図21）

図21 品目別価格指数の前年比



(3) 石油関連品目

石油関連品目の動きを前年比で見ると、灯油は5.1%の上昇、ガソリン(レギュラー)は2.6%の上昇、ガソリン(プレミアム)は1.8%の上昇となった。一方、電気代は2.1%の下落となった。(図22 表21)

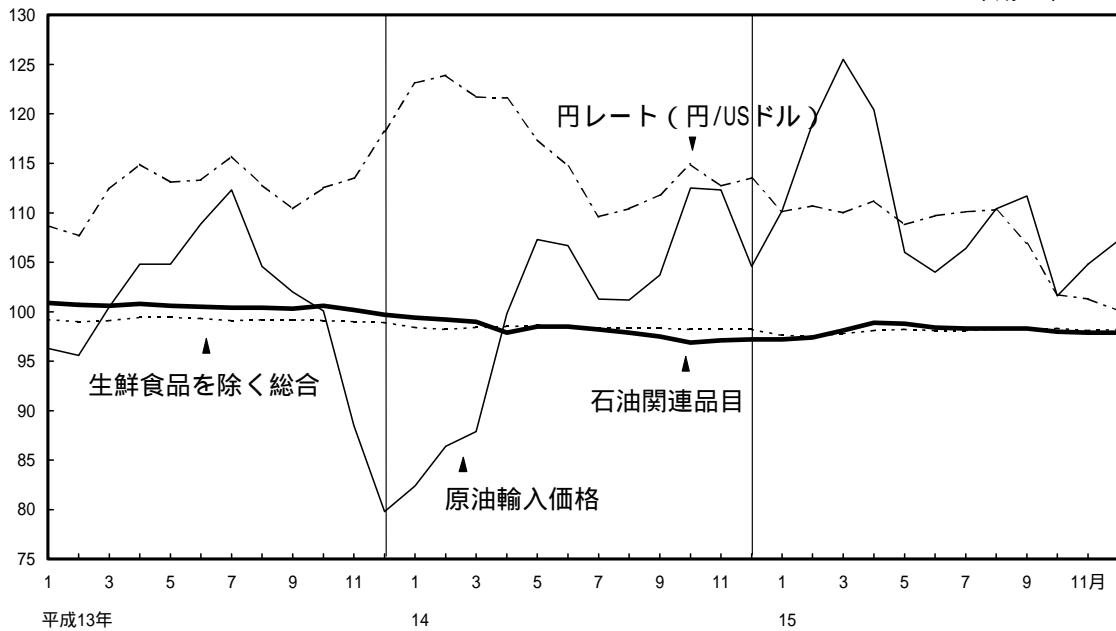
表21 石油関連品目指数

平成12年 = 100

品 目	平成14年	平成15年	前年比	寄与度
			%	
石油関連品目	98.1	98.1	0.0	0.00
電気代	96.4	94.4	-2.1	-0.06
都市ガス代	101.0	100.8	-0.2	0.00
プロパンガス	101.3	101.5	0.2	0.00
灯油	99.7	104.8	5.1	0.02
ガソリン(レギュラー)	97.6	100.1	2.6	0.04
ガソリン(プレミアム)	97.5	99.3	1.8	0.01

図22 石油関連品目の推移

平成12年=100



資料：財務省「外国貿易概況」、日本銀行「金融経済統計月報」